

学内システム System of University

アンケート作成システムの開発 Development of Course Support System

氏名
name

グループリーダー
Group Leader
田村 幸之介
Tamura Konosuke

グループメンバー
Member
岡山 明弘
Okayama Akihiro

佐藤 里佳
Sato Rika

佐渡 由美子
Sado Yumiko

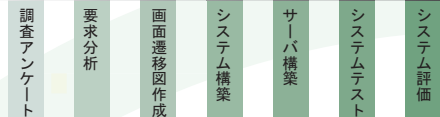
高野 愛美
Takano Manami

開発対象

○学内アンケート作成システム (CSS) の改変 開発工程

・CSSとは？

既に、学内で使用されている総合学習支援システム。
アンケート作成・実施を比較的簡単に提供する。



開発内容

○Java言語で再プログラミング

既存のシステムがPHPであったため処理速度に難があった。
そのためJava化し、さらに新機能も追加。

PHP



css
Java

○スレッド処理のため処理速度が向上
⇒アクセス数に強くなる
⇒セッション管理にも強くなる

○豊富なライブラリが使用できる
⇒新機能の拡張が容易になる

○旧システムの問題点をアンケートで抽出

○ユーザインタフェースの、見直し

画面遷移、レイアウト、デザインの改変など。

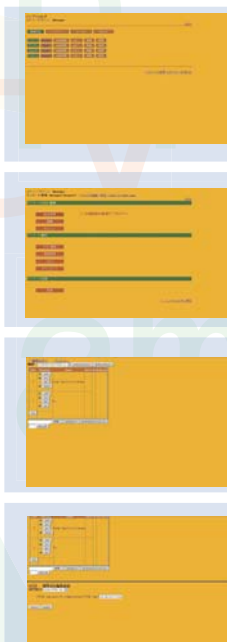


使い物になるPOINT！！

* 旧システム *



* 新システム *



背景色を付け、
リンクをボタンに変更

字だけだったリンク
をボタンに！

ボタンの上にマウスを
置くとリンク先の説明が！

機能単位に
項目を分割！

IDの自動設定と
プレビュー
機能を追加！

面倒だったIDの
変更もこれで楽々！

編集画面ページで
画面を二分割に！

編集しながら
全体の状態が
確認できる！

考察

○処理速度、ユーザインタフェースのレベルアップ！

完成したシステムを実際に使用してもらいアンケートに答えて頂くという形でシステム評価を行った。評価結果は、前システムから比べると処理速度が飛躍的な向上、ユーザインタフェースの向上が主な点である。処理速度はPHPからJAVAへ変換したことによって、ユーザインタフェースは画面遷移図などの再構成などにより向上した。

従って、前システムより「使い物」になっている点でプロジェクトの目標は達成したと言える。しかし、ユーザインタフェースは以前の物より良くなったが、まだ改善の余地が残されている。

